

平成21年1月30日

各 位

中央三井トラスト・ホールディングス株式会社
(コード番号 8309 東証第一部)

平成21年3月期 連結業績予想の修正について

平成20年10月15日に公表した平成21年3月期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。なお、当社単体の業績予想及び配当予想に関する修正はありません。

記

1. 平成21年3月期 連結業績予想

通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日） (単位：億円)

	前回予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (C) ((B)-(A))	増減率 (C) / (A)
経常収益	4,300	4,200	△ 100	△ 2.3%
経常利益	1,000	400	△ 600	△ 60.0%
当期純利益	600	300	△ 300	△ 50.0%

2. 修正の理由

金融市場の混乱や株式相場の下落等を背景として、当社の銀行子会社2社の利益水準が当初計画を下回る見込みとなったことを踏まえ、前回予想を修正するものです。

以 上

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、決算の確定時点まで、様々な要因により変動する可能性があります。

(ご参考)

平成21年3月期 業績予想の概要について

銀行子会社2社（中央三井信託銀行単体・中央三井アセット信託銀行単体）合算

通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：億円）

	前回予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)
実勢業務純益	1,470	1,300	△ 170
経常利益	1,020	400	△ 620
当期純利益	670	350	△ 320
与信関係費用（△）	100	100	—

◇実勢業務純益は、住宅ローン残高の順調な積み上がり等により資金利益が計画を上回る見込みであるものの、金融市場の混乱が続く中、投信・個人年金保険等関連収益や不動産収益が計画を下回る見込みであることを主因として、前回予想比170億円減少の1,300億円となる見込みです。

◇上記要因に加え、第3四半期において、株式相場の下落に伴う有価証券の追加の減損（402億円）を計上すること等から、経常利益は前回予想比620億円減少の400億円、当期純利益は同320億円減少の350億円となる見込みです。

なお、四半期会計期間末における市場価格のある国内株式等の減損処理にあたっては、四半期洗い替え法を採用しているため、平成21年3月期においては、損失の計上額が変動する場合があります。

◇与信関係費用については、前回予想と同額となる100億円を予想しております。